

学校名 越谷市立中央中学校
所在地 越谷市宮前1-18-1
電話 048-962-9181

1 本校の概要

本校は昭和34年に創立され、開校52年目である。現在生徒数830名、特別支援学級も含め27学級の規模の大きな学校である。「自他ともに大切にする生徒」を学校教育目標に掲げ、「チーム中央中」をモットーに各教職員が教育にあたっている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

図書館支援員やボランティアによる読書活動の推進

(2) 実践の概要

越谷市では本年度から試験的に図書館支援員を市内の小中学校に配置している。週1回、4時間の勤務だが、貸出業務の他環境整備や事務作業にも取り組んでいただいている。経験豊富なボランティアもあり、支援員との連携を強化することによって、読書活動の推進を図っている。

① 家庭や地域、図書館支援員との連携



長期休みに保護者や生徒のボランティアを募集し、分類番号順の配架や掲示物作成を行った。「親父の会」につくっていただいた棚板を取り付け、配架できる冊数を増やした。

本の種類ごとに見出しを作成し、探しやすく、返却しやすいよう工夫した。

図書室入り口の看板や、室内の掲示物も美術部の生徒の協力を得て、温かい雰囲気になるよう心がけた。



季節に合わせた本の紹介特設コーナーは図書館支援員とボラン

ティアとの共同制作である。

② 読書推進活動と読書感想文指導

図書委員会では毎月お薦め本紹介と季節に合った掲示物を作成し、正門前や校内に掲示している。



毎朝の朝読書以外にも、常に「本」が身近に感じられる環境づくりを心がけている。



夏休み前には読書感想文の課題図書を紹介するため、図書委員がPOPを作成し、図書室で本とともに設置している。



掲示物作成は支援員やボランティアの指導のもとに行った。また、ボランティアが作成した紹介文書を生徒玄関に掲示した。読書にかかる目安時間やどんな生徒にお薦めなのかが分かる、オリジナル評価が書かれている。国語科授業用に司書教諭のお薦めコメントと読書感想文の書き方講座を掲載したプリントを作成、配布した。



3 成果と今後の課題

生徒や保護者、図書館支援員との連携を図り、委員会の活動を活発に行うことはできている。貸出冊数も、多い月では350冊程度となっている。今後は各教科の先生方とコミュニケーションを図りつつ、必要な場面で図書を活用した授業や、授業のサポートを行っていきたい。

